

災害拠点病院（2019年11月現在） 関東

茨木県				
	浸水時搬送計画の有無 「—」浸水域に立地していない	受水槽容量 単位 日分	通常費の発電量 単位 割	優先使用運用順の取り決め
県西部メディカルセ	—	3	9	無
筑波大	—	4	5	有
栃木県				
済生会宇都宮	—	0.5井戸水など有	6	無
足利赤十字	計画中	0.8	10	無
国際医療福祉大塩谷	—	3	6	有
群馬県				
済生会前橋	有	1.5	6	有
太田記念	—	3	6	有
埼玉県				
済生会川口総合	有	1	4	有
千葉県				
千葉大	—	井戸水など有	10	無
船橋市立医療セ	—	1	10	有
東京歯科大市川総合	計画中	1	6	有
順天堂大浦安	—	1	6	有

東京女子医大八千代医療セ	—	0. 3井戸水など有	10	無
済生会習志野	—	3	6	有
松戸市立総合医療セ	—	3	6	無
東邦大佐倉	—	15	5	有
東京都				
日本医大	—	2	8	無
慈恵医大	—	1	6	有
東京大	—	3井戸水など有	6	有
三井記念	計画中	0. 5	6	有
東邦大大森	有	3	5	有
大森赤十字	—	1. 5	6	有
荻窪	—	1	5	無
佼成	—	2	6	有
慶應大	—	3	6~7	有
東京医大	—	3	8	有
帝京大	—	3	5	有
慈恵医大葛飾医療セ	有	3	6	有
都立墨東	無	3	8	有
順天堂大東京江東高齢者医療セ	—	3	10	無
森山記念	計画中	3	7	有

青梅市立総合	—	1. 59	8	有
公立福生	—	3	3	無
東京医大八王子医療セ	—	1自治体と優先給水協定有	6	有
東海大八王子	—	3	6	有
稲城市立	—	5	7	有
立川	—	1井戸水など有	9	有
東大和	—	1	7	有
杏林大	—	1	10	有
慈恵医大第三	—	1	6	無
公立昭和	—	1	8	無
神奈川県				
昭和大藤が丘	—	0. 8	8	無
済生会横浜市東部	—	3	8	無
聖マリアンヌ医大横浜市西部	—	0. 5	6	無
横浜市立市民	—	7	5	有
横浜市大市民総合医療セ	有	7	10	有
済生会横浜市南部	—	1	8	有
横浜市大病院	—	3	5	無
横浜市立みなと赤十字	計画中	3. 9	8	有
聖マリアンヌ医大	—	1	6	無

帝京大溝口	有	0.5	7	無
関東労災	計画中	3	5	無
横須賀共済	—	3	6	有
藤沢市民	—	1	8	無
北里大	—	1	10	無

読売新聞で災害拠点病院にアンケートを依頼し回答のあった中から各都道府県別162病院の一覧表となったのがこの表です。

742病院が災害拠点病院として都道府県から指定されている。そのうち355病院(48%)から回答があった。

掲載されている病院は災害時の役割分担、運用について、地元市町村との話し合いがあるとした所です。

読売新聞 2020年4月15日 朝刊

新型コロナウイルスの問題で医療崩壊の言葉ばかりを報道で見聞きしていますが、私たちの住む日本は地震も多発します。

これからの季節は大雨、台風にも十分に注意しなければなりません。その災害時に地域医療を守るのが災害拠点病院です。

もし私たちができない理由ばかりを述べて不要不急の外出を繰り返し、3蜜防止を守らなければ病院がコロナ患者で溢れ機能しなくなります。

院内感染になれば病院機能は完全に停止してしまいます。災害時の拠点病院などということは幻想となってしまいます。

4月18日読売オンラインでは「感染症の指定機関、都立墨東病院で新たに11人の感染確認・新規受入原則中止へ」の見出し。

すでに災害拠点病院に影響が出ています。

日本人の美德。人のことを考えましょう。今を生きる私たちは、この国を守らねばなりません。